

平成28年度真岡市水道事業上半期業務状況説明書 (平成28年4月1日～9月30日)

真岡市水道事業は、すべての市民に清浄でおいしく、豊富で安全な水道水を供給するため、配水管（水道水を浄配水場から各戸に送るための管）の拡張・改良、水道施設の更新・修繕等を行うとともに、料金業務の民間委託等により経費の節減に取り組み、経営の健全化に努めています。

また、水道施設の効率的な維持管理と料金体系を含めた経営の一元化を図るため、平成26年度から1つの事業に統合し運営をしています。

当期末における給水世帯は25,252世帯、給水人口は68,101人で、前年同期と比較し、給水世帯で514世帯増加、給水人口で203人増加し、普及率は84.0%となっています。世帯数が増加した要因は、宅地分譲等によるものと考えられます。

次に、配水量（配水管に送られた水量）と有収水量（配水量のうち水道料金として回収された水量）を前年同期で比較すると、配水量が0.2%、有収水量が0.7%と共に増加しています。また、配水量の増加よりも有収水量の増加の方が大きいため、有収率（配水量に対する有収水量の割合）は0.4%増加しています。

経理状況につきましては、収益的収支では、収入は予算額に対して47.8%、支出は同42.0%の執行率となっています。なお、収入の大半を占める給水収益（調定額）は、前年同期と比較して0.3%（約300万円）増加しています。

資本的収支では、収入は予算額に対して0%、支出は同24.6%の執行率となっています。

なお、資本的支出における当期の配水設備拡張工事請負費は、予算額341,981千円に対して、契約済額は約37,900千円（執行率11.1%）で、亀山北及び中郷・萩田土地区画整理地内のほか西郷や長島地内などの配水管布設工事を実施し、これにより、配水管は1,458m延長されることとなります。また、配水設備改良工事請負費は、予算額213,719千円に対して、契約済額は約79,300千円（執行率37.1%）で、京泉浄水場着水井サンプリングポンプ更新工事などを行っており、下半期については、引き続き配水管布設や施設の更新工事を予定しております。